
カレーに必要なライスでありたい

なおぞー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カレーに必要なライスでありたい

【Nコード】

N1185D

【作者名】

なおぞー

【あらすじ】

夢も金も無いそんな青年のものがきながらも少しずつ前に進む話。ちよっと切ない恋愛もある予定

一話（前書き）

初めて書くので誤字脱字あるかと…アドバイス等お願いします。

一話

朝の9時丁度…。前の日に飲んだりしてなければ大概はこの時間に目が醒める。決まって考える事は、

「つままない」だ。もう少し複雑に考えてるだけどたどり着く答えは一緒だった。

脱ぎ散らかした洋服をいくつか拾い着る。歯を磨き、駅に向かう。環七は朝の渋滞で妙な熱気で気分が悪くなりそうだ。運転手達は、気だるそうに前の車が進むのを待っている。

そして、目的の無い俺はさらに気だるそうな顔をして自分に言い訳をする。

「やりたいことがみつからない…無理して働く事はないよ」

どっかの無責任な大人が言ったセリフを借りる。深いため息のあとに金持ちの息子で無い自分に本気で腹を立てる。

コーヒーを買う際にコンビニの店員の態度の悪さに腹を立てながら一睨みする…

客と店員の立場で強気に出て何になるんだ…
すぐに後悔しはじめる。

いつもの顔ぶれと列に並びながら談笑する。

「今日はいい加減にこの青ドン上げて来るだろ」
と連れの高田直人

スロットが朝から打てないを理由にそこそこの会社を辞めてきた昔からの連れだ。

「兄ちゃんもそれか…んじゃ俺エバアね」

高田の弟のまさし

「…2027でも打つかない」

「えっマジで？」

二人に同時に言われる。

「あんまり、あれこれ考えたくねえから」

とイマイチな意味不明な解答をした。和知 楓

一様主人公だ。

開店

二人は狙い台に一目散に向かった。

後からノロノロと向かって島を見回した。昔ほどの活気はスロットには明らかになかった…

ふうー

ため息をはぎながら適当に台に座る。

(金残り少ないからなあ)

昼過ぎに二人とも高設定を臭わせる自分の台に満足げに報告をくれた。

俺は休憩室でタバコをふかしていた。

雑誌を読むでもなくめくっているとか向かいに人が座っているのに気がついた。

！？

(いつからだ…つうか他に座るとこあんじゃん)

ちらっと横目で見るとモニターを凝視している。

緑のTシャツに長い黒髪の幼さの残る顔立ちだか綺麗な女だった。

モニターにはゴルフが流れていた。
どっかの国の選手がパットを決めて手を振っていた。

「パチンコ屋でゴルフが気になる人ってあんまり居ないと思わない？」

突然の質問に思考がフル回転する。

「まあね。特に俺は明日の自分の事で頭が一杯だ」
「なんだか意味が分からない答え方に一瞬後悔した。

目を少し細めてこつちを見る彼女。

「ふーん。今日はもう打たないの？」

「いい台が開くのを待ってたんだ」

あきらめながらも答える。

「そお……」

気のない返事に元気の無さを漂わせる彼女。

「そつちは」とあごで聞き返す

「私は目が回るから……」

一瞬間を空けてから少し吹き出した。

少し耳を赤くする彼女。

「彼氏がスロット好きなの……」と目線の先に彼氏がいた。

「あゝ、最近よく見かけるな。勝ってないだろ？彼氏」

「最近ちよくちよく朝から見るようになった。前は夕方に作業服でたまに来ていたのを見たことがある。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1185d/>

カレーに必要なライスでありたい

2010年11月10日14時39分発行